

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 046	提案機関名 みうら魚業協同組合
要望問題名 海藻類の消滅について	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 近年、相模湾全体に磯焼けが広がっており海藻類の減少や消滅が著しい。魚介類を採取している漁業を営む者にとっては死活問題である。 そこで、現状の磯焼け状態からの回復を強く希望しており、磯焼け対策の研究の成果を各浜に周知し、回復を進めて欲しい。また漁業者自ら藻場再生が出来る事等有ると思うので、そのような手法の指導も併せて県の支援を頂きたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 藻場再生技術高度化試験			
対応の内容等 水産技術センターでは、磯焼け対策として早熟性カジメやアカモク種苗を活用した藻場の再生研究に取り組んでいます。令和5年度には種糸大量培養施設の整備、現場海域への展開試験等を実施し、令和6年度からは、相模湾全域を対象として広域的に県内沿海漁協・漁業者、多面的活動団体、市町と協同して藻場再生対策を進めていきます。 藻場再生対策手法については、県内の各漁協と個別に相談し、各海域に合わせた方法の提案、現場での助言指導を併せて実施していきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備 考			